

外日 問

# 日 本 語

令和 3 (2021) 年度

## 注 意

1. 「解答はじめ」と言うまで開いてはいけない。
2. 問題は1冊(本文9ページ)、解答用紙、下書用紙(うす緑色)はともに4枚である。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 50001 番の場合 →

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---

4. 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書いても無効である。字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。字数制限がある場合、洋数字(算用数字)およびアルファベットにかぎり、1マスに2字入れることができる。句読点は、1マスに1字とする。
5. 試験終了後、問題冊子と下書用紙(うす緑色)は持ち帰ること。

I 以下の文章を読んで、後の問に答えなさい。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

注1：街頭ロケ＝街中で番組用の撮影をすること

【文中出典資料】

\*1：井上章一(2018)『大阪的』幻冬舎新書

\*2：Boorstin, Daniel. (1962) *The Image; or, What Happened to the American Dream*. Atheneum. (星野郁美・後藤和彦訳(1964)『幻影の時代—マスコミが製造する事実』東京創元社)

\*3：Urry, John. and Larsen, Jonas. (2011) "Tourist Gaze 3.0", Sage Publications. (加太宏邦訳(2014)『観光のまなざし増補改訂版』法政大学出版局)

\*4：須藤廣・遠藤英樹(2018)『観光社会学 2.0—拡がりゆくツーリズム研究』福村出版

\*5：田中美子(1997)『地域のイメージ・ダイナミクス』技報堂出版

(ケイン樹里安・上原健太郎(2019)『ふれる社会学』Chapter 5「観光にふれる」より)

問1 下線部(1)~(5)のカタカナの部分に漢字で書きなさい。

- (1) キャクシヨク      (2) キョコウ      (3) ユウワク  
(4) モした      (5) スイタイ

問2 ( ① )に入る内容として、最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 現実には存在しない大阪イメージが生み出された  
イ 誇張された大阪イメージが定着した  
ウ 過度に美化された大阪イメージが作り出された  
エ 使い古された大阪イメージが変化した

問 3 空欄   に入る最も適切な語を選び、記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。

- ア あたかも                      イ とりわけ                      ウ むしろ  
エ あくまで                      オ ただし

問 4 空欄  に適切な漢字 2 字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

問 5 下線部(a)「ほんものの旅」とは、ここではどういうことを指しているのか。本文から、近い内容を指す箇所を 25 字以内で抜き出し、以下の表現に合う形で答えなさい。

\_\_\_\_\_ こと

問 6 下線部(b)「こうした変化」とはどのような変化のことか、本文の語を利用しながら概要を簡潔に 100 字程度で述べなさい。

問 7 下線部(c)「消費の美意識の差異化」とはどういうことか。30 字程度で説明しなさい。

問 8 下線部(d)「外部からのまなざしを内面化する」とはどのようなことか。具体的な例を挙げつつ、それに対するあなたの考えを 200 字程度で述べなさい。

Ⅱ 以下の文章を読んで、後の間に答えなさい。

\*この本文は『AIの時代と法』第4章からの引用である。以下にある「第1章」「第2章」は、同書中の第1章、第2章を指す。

著作権保護の観点から、  
公開していません。

著作権保護の観点から、  
公開していません。



著作権保護の観点から、  
公開していません。

(小塚荘一郎『AIの時代と法』より)

注1：AI=Artificial Intelligence. 人工知能

注2：アーキテクチャ=技術において求められる適切な制度設計のあり方

問 1 下線部(1)~(5)の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- (1) 下 す                      (2) 誤 り                      (3) 掲げられ  
(4) 尊重する                      (5) 負わせ

問 2 下線部(a)「AI が「間違いなく」データを学習する」ことで生じる問題について、本文の内容にそくして 80 字以内で書きなさい。

問 3 空欄  について、「 学習の原則」と下線部(b)が同等の内容になるように、空欄  に入れるのに最も適切な語を選び、記号で答えなさい。

- ア 適 応                      イ 適 中                      ウ 適 正                      エ 適 性

問 4 下線部(c)を行ったときに生じうる問題について、本文の内容にそくして 100 字以内で書きなさい。

問 5 空欄  に入れるのに最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア されてくる                      イ されていく  
ウ されていった                      エ されてきた

問 6 空欄  に入れるのに最も適切なひらがな 3 字を書きなさい。

問 7 下線部(d)について、人間の判断を AI とは異なる角度から加える必要がある理由を本文の内容にそくして 140 字以内で書きなさい。